令和7年度 第1回 館山市総合計画審議会 会議記録

1 日 時 令和7年5月27日(火) 15:00～16:30

2 場 所 館山商工会館 大ホール

3 出席者

委員構成	氏 名	役 職
市議会議員	鈴木 ひとみ	市議会議員
	東 洋平	市議会議員
産業関係者	安田 信之	館山商工会議所 推薦
	谷貝 孝雄	安房農業協同組合 推薦
	酒井 伸一	一般社団法人 館山市観光協会 推薦
	三平 英司	一般社団法人 館山青年会議所 推薦
行政関係者	高嶋 洋幸	千葉県安房地域振興事務所 推薦
教育関係者	守安 委久予	館山市教育委員会 推薦
金融関係者	小笠原 潤	館山市金融団(二十日会) 推薦
労働関係者	伊熊 雅美	館山公共職業安定所 推薦
報道関係者	本間 裕二	館山記者クラブ 推薦
知識経験者	眞汐 眞一	館山市町内会連合協議会 推薦
	石渡 秀嗣	館山市子ども・子育て会議 推薦
	児玉 秀一	公募委員
	加藤 美里	公募委員
高 校 生	本吉 優海	千葉県立館山総合高等学校
	芝田 千花	千葉県安房西高等学校

(欠席者) 鈴木 久雄 委員、中島 桂子 委員、田上 重光 委員、秋山 一夫 委員

4 議題

- (1) 『第5次館山市総合計画』令和7年度策定スケジュールについて
- (2) 『第4次館山市総合計画「後期基本計画」』について【報告】
- (3) 『第2期館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略』について【報告】
- (4) 『第5次館山市総合計画』について
 - ① 「基本構想」(案)に係るパブリックコメントへの回答および基本構想修正案について
 - ② 「前期基本計画」館山市デジタル田園都市構想総合戦略を含む素案について
- (5) その他

5 会議の経過

1. 開会
2. 会議成立の確認

事務局： 会議成立の確認についてご報告いたします。本日は田上重光委員、中島桂子委員委員、秋山一夫委員、鈴木久雄委員につきましては、所用によりご欠席とのご連絡をいただいております。

本審議会は館山市付属機関設置条例第6条第2項の規定により、委員の半数以上のご出席で成立することとなっています。本日16名の委員の皆様にご出席いただいておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。また、本審議会は公開となります。事務局において会議の録音及び写真撮影をさせていただきますのでご承知おきください。なお、傍聴される方が録音、写真撮影を希望される場合には、あらかじめ会長の承認が必要となりますのでお知らせいたします。続きまして次第3、委員委嘱を行います。

3. 委員委嘱

事務局： これまで委員を務めていただきました安房農業協同組合ご推薦の高橋實委員、一般社団法人館山市観光協会ご推薦の上條長永委員から委員変更の申し出がございました。新たに安房農業協同組合より谷貝孝雄様、一般社団法人館山市観光協会より酒井伸一様のご推薦をいただいております。また高校生委員として、千葉県立館山総合高等学校より本吉優海様、千葉県安房西高等学校より芝田千花様のご推薦をいただいております。芝田様については本日所用により遅れて来られるとのことです。新たに委員となられる3名の方に森市長より委嘱状を交付いたします。お名前を呼ばれた方はその場でご起立をお願いいたします。

※委嘱状交付。

事務局： なお、谷貝委員、酒井委員の任期につきましては、前任者の任期を引き継いでいただきますので、他の委員の皆様と同じく令和8年7月24日までとなり、高校生委員の本吉委員、芝田委員の任期は、令和8年3月31日までとなりますのでよろしくをお願いいたします。それでは、新たに委員となりました3名の方から一言ずつご挨拶をいただきます。

谷貝委員： JA安房の谷貝孝雄と申します。3月のJAの総代会におきまして、高橋委員が任期満了で退任をいたしましたので、後任といたしまして参加いたします。JA安房では信用共済を担当しております。どうぞよろしくお願いいたします。

酒井委員： 皆さんこんにちは。このたび5月から館山市観光協会の協会長に任命されました酒井でございます。館山市総合計画審議会に参加させていただくことになりま

した。館山市のために自分の思っていることを発表させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

本吉委員： 館山市総合計画審議会に参加させていただくことになりました館山総合高等学校の本吉優海です。よろしくお願いいたします。

事務局： ありがとうございます。その他の総合計画審議会委員、館山市長、副市長、市教育長、ならびに市職員につきましては、お手元の席次表をもって紹介に代えさせていただきます。また、本日は次期総合計画策定業務をご支援いただいている、株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所の担当者にもご同席をいただいております。よろしくお願いいたします。

続いて、議事に移ります。議事の進行につきましては、館山市附属機関設置条例第6条第1項の規定により、会長が議長になることとなっておりますので、以降の進行につきましては、安田会長にお願いいたします。

4. 議事

(1) 「第5次館山市総合計画令和7年度策定スケジュールについて」

安田会長： 皆さんこんにちは。商工会議所の安田でございます。前回に続き議長を努めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

議事(1)「第5次館山市総合計画令和7年度策定スケジュールについて」、事務局からご説明をお願いいたします。

※事務局から説明。

安田会長： この件についてご質問があれば挙手をお願いいたします。質疑がないようですので、次の議事に移ります。

(2) 「第4次館山市総合計画後期基本計画」について

安田会長： 議事(2)「第4次館山市総合計画後期基本計画について」、事務局より説明をお願いいたします。

※事務局から説明。

安田会長： ただ今の説明について、質問等がございましたら挙手をお願いします。質疑がないようですので、次に移ります。

(3) 『第2期館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略』について

安田会長： 議事（3）「第2期館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略について」、事務局から説明をお願いします。

※事務局から説明。

安田会長：説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。ご意見等ございましたら挙手をお願いいたします。ないようですので、次の議事に移ります。

（4）『第5次館山市総合計画』

①「基本構想」（案）に係るパブリックコメントへの回答および基本構想修正案について

安田会長： 『第5次館山市総合計画』「基本構想」（案）に係るパブリックコメントへの回答および基本構想修正案について、事務局より説明をお願いいたします。

※事務局から説明。

安田会長： 説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見のある方は挙手をお願いいたします。

本間委員： パブリックコメントをデジタルでも実施の方向でご対応いただき、ありがとうございます。全部で56件ですが、想定していた数なのか、年代のばらつきやどういった方々が答えられているのか、その辺の印象や評価があれば教えていただきたいと思います。

事務局： 件数について申し上げますと、前回の後期基本計画に対するパブリックコメントは69件のご意見をいただきましたので、それくらいは出るかなと思ってはいました。今回は24名の方から56件の熱意のあるご意見をたくさん頂戴しているという印象です。オンラインで回答をされた方がほとんどで、年代までは把握していないのですが、デジタルで回答することに慣れている方がご回答いただいているということです。

東委員： 69件の回答というのは基本構想に対するものですか。

事務局： 後期基本計画で第5次だと、前期基本計画や実施計画などの細かい内容になります。

東委員： 基本構想レベルでパブコメはしていなかったのですか。

事務局： 前期基本計画の段階でその時の情報がないので、すみません。

事務局： 補足をさせていただきます。第4次館山市総合計画を策定した際の、基本構想案に係るパブリックコメントの募集を、平成27年の4月15日から約1カ月間行っております。その際のご意見が6件ですので、それに比べるとだいぶ多かったという印象でございます。

東委員： 前回の審議会で、まちの将来像についていろいろ意見がありました。高校生からアンケートを取ったときに、他に案が上げればそれも取り入れて考えてみたいという話もありましたが、これは単純にアンケートをどれが良いか選んだだけで終わったということですか。

事務局： 今回は特に新しいものについては、募集はかけておりません。

東委員： これ以上は変えないという方針ですか。

事務局： 今回5案提示させていただいて、どの案が良いかと自由回答をお願いした経緯です。基本的には今まで審議会の課程で決定した中から選んでいただいて、このアンケートの形を取らせていただきました。

東委員： 高校生が楽しく選んだのかなという疑問が残りますが、ここまで来たので仕方がないのかなと理解します。

安田会長： 前回のときもいろいろな意見が出まして、投票という形を取りました。高校生もほとんど同じということでしたので、これで良いかと思えます。他にございますか。

児玉委員： 整理整頓されていて、まちの将来像についても前回の会議や内容を踏まえて、対応していただいたことに感謝します。次から次へと進んでしまうケースが多い中で、キャッチフレーズが大切だと考え、高校生へのアンケートもしていただいて、立ち止まって調整していただいたことに改めて感謝申し上げます。整理の仕方や言葉遣いの大切さを私自身も感じています。この方向で行くのだろうと思いますが、この先で細かい計画の部分に入っていきます。「みんなが主役」は誰が決めたからということではなくて、これが館山市民のおおむねの心持ちで、5年10年と生きていく言葉に発展すべきだろうと思います。この先、細かい分野が決めるときに、このコンセプトに合った計画になっているのかを改めて思うのだということを感じました。改めて調整していただいたことに感謝申し上げます。

安田会長： 他にございませんか。質疑がないようですので、この件について、お諮りをしたいと思えます。事務局案のとおりとすることに賛成の方、修正する必要がないかどうかお諮りをしたいと思えます。事務局案でよろしいですか。

(異議なし)

安田会長： ありがとうございます。それでは、①「基本構想」(案)に係るパブリックコメントへの回答および基本構想修正案につきましては、事務局案のとおりとします。それでは次に進みます。

(4)『第5次館山市総合計画』

②「前期基本計画」館山市デジタル田園都市構想総合戦略を含む素案について

安田会長： ②「前期基本計画」館山市デジタル田園都市構想総合戦略を含む素案について、事務局より説明をお願いいたします。

※事務局から説明。

安田会長： 事務局の説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑のある方は挙手をもってお願いします。

東委員： 総合戦略を総合計画の中に入れるのは良い案だと思います。リーディングプロジェクトと位置付けられたということですね。リーディングプロジェクトが4つあって、そこにも成果指標を設けて行っていくと思いますが、リーディングプロジェクトには実施計画は結びつかないということですか。それともリーディングプロジェクトに重なるような実施計画があるということですか。

事務局： 実施計画については、基本的に目標とする施策に関する事業が紐付いておりますので、総合戦略で行っていくことが総合計画で目標とする施策とまったく違うことにはなりません。同じことが総合戦略としても考えられますし、目標別施策としても考えられるということがございます。総合戦略について実施計画がないとまではならないと考えております。

東委員： 今聞きたかったのは構造的な問題なのですが、基本計画に対して実施計画が結びついて、実施計画も回していくと基本計画が達成されるようなピラミッドになっていると思います。その中で、総合戦略で別だったものが総合計画の中にリーディングプロジェクトとして入ってきて、独立して存在しているのならば、総合戦略とあまり変わらないのではないかと思います。それが総合計画の実施計画と重複するのであれば、そもそもいらないのではないかと思います。その辺の説明をお願いします。

事務局： 今のご質問を整理させていただきますと、基本構想には基本目標があり、また、基本構想に基づく基本計画があり、その下に事業がぶら下がっているという構造になっています。実施計画は、基本計画にある施策の方向性を具体的にどうい

事業を行うのかを書いたものになります。具体的に1年間に何を何回行うかとか、お金をいくらかけるかとか、そういう情報が入ってくるであろうと思います。基本計画の進捗を確認するために実施計画を評価していけば、おのずとその実施計画の進捗を確認することができるという構造はできていると思います。総合戦略は基本計画の中で分野を横断して、これから特に進めて行きたい事業を4つのカテゴリーに分けてそれぞれの分野から事業を集めたものをリーディングプロジェクトとして位置付けるということです。重点事業のようなカテゴリーで、そのカテゴリーが総合戦略項目として「1. 地方に仕事をつくる」、「2. 人の流れをつくる」、「3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「4. 魅力的な地域をつくる」という4つの重点プロジェクトを決めるという構造になっております。基本計画の中の事業から分野横断別に重点をピックアップしたものですので、基本計画の進捗状況をチェックすることによって、事業をプロジェクトごとに集約することで重点プロジェクトの進捗を確認することができるという構造になります。もともと総合戦略と総合計画は別に作っておりましたが、これまでも総合戦略に位置付けていた事業は、基本計画に位置付けている事業を総合戦略に位置付け直しているということはありません。今回、リーディングプロジェクトという形で位置付け直しましたが、今までと同じように戦略を別々に作るのではなく、同じ目標に向かってリーディングプロジェクトとして、総合計画の中に取り込むという考え方で提案しています。リーディングプロジェクト自体を別に策定し、その実施計画を作ることはせずに、基本計画の進捗を確認することによって、リーディングプロジェクトの進捗も確認していくという構造をしております。

東委員： 丁寧なご説明ありがとうございました。リーディングプロジェクトは、実施計画を個別に積み重ねていくことで達成されるものとは次元が異なって、それぞれの分野を横断するプロジェクトだということだと理解しました。例えば、8ページの「1. 地方に仕事をつくる」の数値目標が「サテライトオフィスやリモートワーク等を含めた企業誘致件数」、「企業・創業者数」となってくると、本当に分野を横断している話なのかと思います。分野横断的なプロジェクトはとても大事だと思うので、そういうことを推進していく中で、数値目標は横断した先にあるもっと違う次元の目標になるのではないかと思います。それがここに出ていけばそうなのかと理解できるのですが、これから作り込んでいく中でそこを意識していただければ読み手も分かりやすいのではと感じました。

安田会長： ありがとうございます。他にございますか。

鈴木委員： リーディングプロジェクトが4つのテーマになっています。デジタル田園都市のところは地方版総合戦略で5つテーマがあって、基本計画も5つで、なぜこれは4つなのか伺いたいと思います。

事務局： まだ仮ではありますが、リーディングプロジェクトを4つに分けているのは、7

ページの「デジタル田園都市国家構想総合戦略の全体像」(1) デジタルの力を活用した地方の社会課題解決」のところで、こういった取組を行っていこうと国が掲げているものでその中に「1. 地方に仕事をつくる」、「2. 人の流れをつくる」、「3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「4. 魅力的な地域をつくる」の4つのテーマがあります。これに館山市としての財政基盤の強化を加えまして、4つとして考えているということです。これにつきましては、この形になるのかは決定していませんが、今後、案件を通してこれを軸に考えようということです。

また、この総合戦略につきましては、国や県の総合戦略を勘案することが求められておりますので、国が掲げている目標や基本的な方向を踏まえた形で、現時点では4つとしております。そこをご承知いただければと思います。

鈴木委員： 「魅力的な地域をつくる」というのは大事だと思いますが、この言葉は入れるのですか。

事務局： 総合戦略としてはプロジェクト3のところで、考えていければと思っております。

鈴木委員： 子育てや安全・安心というだけではなくて、地域の魅力はもっと広い意味があると思います。横断的なことを考えると、産業についても、財政も豊かであれば魅力的な地域になるだろうと思うので、この言葉をできれば残していただければと思います。

安田会長： 委員の意見を念頭に入れて今後、前に進んでいただければと思います。他にございますか。

児玉委員： 先ほどの説明を聞いた上で、リーディングプロジェクトとデジタル田園都市構想の総合戦略がどう重なって、どういう位置付けになって、基本目標がついて細かい施策に向かっていくのかという形が6ページでよく分かると思います。4ページのところも横断しているという意味で、上にプロジェクト名になっていて、その下にまっすぐにつながっているのではなくて、関係していることが分かります。そうすると施策体系の表に“まちづくりの将来像”が残っているのは、わざと残しているのか確認をお願いします。リーディングプロジェクトと基本目標と10年後の姿の施策が、左横一列で、次に項目がついているので、表を見ると横並びで同格のように見えて、右に行くほど、最後はKPIが似たようなものが付いてくるのではないかと疑問があると思います。順次指標のレベルが変わっていくのが狙いなのではないかと思いますが、これだとKPIや指標が変わってこなく見えるので、2、3ページの表が分かりにくい印象を受けます。審議委員だけではなくて、住民にある程度分かるというのが作り方の大事なところですし、戦略が一緒になるということ自体は賛成ですが、その表記が大切だと思います。6ページで、各施策のところにも横に向かってつながります。これがいわゆる縦割りで担当

課が担当して行っていくものが、実はトップ目標に対しては縦軸で横断していることが分かります。デジタル田園都市構想を4つに分けていますが、金になるかならないか、人が喜ぶか苦しいとかで2つに分け、クロスしてこれから将来の計画を作っていくという部分があるので、これを研究してこういう形を作っているのではないかと思います。それは良いことですが、6ページの表自体がシティプロモーションで、小さなまちになる準備の形のことなので、この先もシティプロモーションという単語は入ると思います。それなら、スマートシティとシティプロモーションは、自分たちで企画も事務局も調整しているので、こういうことが分かるように進めていただければと思います。

安田会長： 他にございますか。ないようですので議事を終了します。
最後に副会長から感想とご意見をお願いしたいと思います。

小笠原副会長： 長時間にわたり皆様お疲れさまでした。基本構想の段階のパブコメはボリュームがあったと思いました。今後、基本計画、実施計画についてまたパブコメをしたいと思います。デジタルでの意見集約を進めたことで、細かい熱意の高い意見があったと思います。おそらく実施段階になってくると、もっと細かい具体的な案が出てくるのではと思っています。次々回の総合計画でパブコメを踏まえた審議会はかなりボリューム感があると思いますし、非常に多岐にわたる内容で執行部の方にとっても参考になる意見が多いと思いますので、パブコメへの回答案については、委員の方への周知をなるべく早くしていただけるとありがたいと思います。金融代表として来ていますが、金融は地域を支える存在なので、事業者の方の意見なども間接的に伝えることができるのではないかと考えております。千葉銀行でもパーパスビジョンを策定して、地域の課題解決、地域の皆様の思いの実現、地域の皆様の豊かなライフスタイルの実現、この3つを実現するためにすべての判断をする際にはそこに立ち戻るということをしています。今までは企業の存在が昨年まではなかったのですが、何か迷ったときに立ち戻るというものができて働き方が少し変わってきました。今回のキャッチフレーズの話でも委員の皆さんが真剣に話をしていました。長く使うものですし、それに向けて各施策が本当にいいのかと考えるよりどころになるとと思いますので、今一度考えていただいてもいいのではないかと考えております。方向性については委員の皆さんが非常に勉強されていると感じました。戦略と基本計画の関係性をしっかりと整理していただければと思います。プロジェクト名が具体的な案がないのでイメージしづらいかと思います。外から見ると行政の方は縦割りということを指摘されることが多いですが、このプロジェクトがしっかりと横串縦串を通して、市民の目から見たら一回しになったりすることがなく、各部が横断して行政、組織として語っているんだということを表明できれば素晴らしい計画になるのではないかと思います。引き続き審議会が実りのある議論となることを期待しておりますので、よろしく願いいたします。

安田会長： 千葉から館山を見ていただいておりますので、われわれと違った視点も意見もあると思います。貴重なご意見ありがとうございました。今日、高校生は試験中ということで、忙しい中ご参加いただきましてありがとうございます。遅れての参加となった芝田委員に自己紹介をお願いします。また、改めて本吉委員も一言をお願いします。

芝田委員： 千葉県安房西高等学校から来ました、2年の芝田千花と申します。よろしくお願いいたします。

本吉委員： 今日は館山のことをたくさん考える貴重な会議に参加できてとても光栄に思います。皆さんが館山についてたくさん考えていい市にしようとしているのが分かりました。私も館山についてたくさん考えて、将来、館山に残るかどうかもまだ分かりませんが、館山のことをずっと大事に考えていければと思いました。今日はありがとうございました。

安田会長： 以上で本日の議事はすべて終了いたしました。皆様ご協力ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しします。

5. その他

事務局： 事務局から2点ご連絡します。1点目、本日の会議要旨については、まとめ次第、委員の皆様へ送付しますので、内容のご確認をお願いいたします。

2点目、次回の総合計画審議会の日程です。本年度の総合計画審議会のスケジュール案をお示ししましたとおり、次回会議は8月上旬の開催を予定しています。なお、日程の調整については、現在配布している日程調整表により6月13日までにご回答をお願いいたします。ご多用の折、恐れ入りますがご協力のほどよろしくお願いいたします。

連絡事項は以上となります。長時間に渡りご審議、貴重なご意見など誠にありがとうございました。以上をもちまして令和7年度第1回館山市総合計画審議会を閉会いたします。ありがとうございました。

6. 閉会

以 上